



1月



園だより



文京区立根津幼稚園

新しい年を迎えて

園長 野田 久美子

明けましておめでとうございます。令和初の年明け、夏にはオリンピック・パラリンピックも開催されますね。今年も皆様にとって、良い年となりますようお祈りいたします。

今年の子年です。干支で1番目の子年は、新しい生命が種子の中にきざし始めるという意味があるそうです。子年の子は子どもの子、毎日をわくわく心躍らせながら過ごしている子どもたちにぴったりの年ですね。

昨年は、学校評価にご協力いただきありがとうございました。「本園の子どもたちは園が楽しいと感じている」について、「とてもあてはまる」と回答された方が91.2%もいらっしゃいました。うれしいことです。子どもたちが園生活を楽しんでいることは、私たち教職員にとって大きな励みとなります。いただいたご意見の中には課題として検討していくべき内容もあります。すぐに改善できることに取り組むとともに、来年度に向けて教育課程を作成していく中で、それらの意見をどのように生かしていくことができるか、考えを出し合ってまいります。

教員も、自己評価を行っています。頑張ったことやできたこと、自分としてこうすればよかったのではないかなど、ここは皆で話し合い改善していきたいなど、教育活動を振り返って記述し、それぞれが考えや意見を出します。こうした話し合いの場が、教員の資質や保育の質を高めることにつながると考えております。

3学期は、1年のまとめの時期です。子どもたちが、進学や進級を意識し、大きくなる自分に期待をもてるよう、個々の育ちを支えていきます。年長児は、自分で考える、自分のことを進んで行う、友達の良さに気付く、友達と力を合わせる、自分の良さに気付き自信をもつことなどを育てていきます。年中児・年少児は、自己を発揮し、楽しみながら遊びや生活に取り組めるようにします。また、身支度を自分で行う、年長がやっていたことを引き継ぎやってみようとするなど、子どもたちが意欲をもって行う姿を支えていきます。

今年も、教職員一同、幼児の成長のために心を尽くしてまいります。

どうぞよろしく願いいたします。



<年長ほし組が作った貼り絵のネズミ>